

南北に長く中山間地も多い京都府。豊かな自然と景観、農山村や食をめぐる歴史や文化は、私たちの宝です。しかし、この農業と農山村が、農業を切り捨てる政治のもとで、担い手や生産規模を大きく後退させ、存亡の危機に直面しています。日本共産党は、農家のご苦勞に寄り添い、持続可能な農業・農山村を築く新しい政治の実現に力をあわせます。

持続可能な農業は世界の流れです。

米国でもEUでも手厚い支援

- ◆米国は主な農産物で、販売価格が生産費を下回った場合、その差額を補てんする制度を。コロナによる農家の所得減にたいし2年間で3.3兆円を直接支援。
- ◆EUでは農産物の価格支持制度に加え環境保全や条件不利地に配慮した手厚い所得補償を実施。

気候危機や人口急増による食料危機が世界を直撃しています。世界では、効率最優先の農業から、小規模農業を大切する方向に転換。国連「家族農業10年」や「農民の権利宣言」を採択しています。家族農業を中心に農業を再建し、食料の自給率を向上させることは世界の流れです。自民党農政を転換し持続可能な農業をめざしましょう。

家族農業を応援します。



農産物の価格保障制度の創設をめざし、持続可能な家族農業の土台をつくります。大規模化最優先の農政を切り替え、多様な営農組織や家族農業を応援します。後継者難を打開するため、UターンやIターンなどの新規就農者にたいし、営農定着までの生活費支援や農地・住宅の確保など総合的な支援体制を確立します。

農業環境と農村を守ります。



農地の管理・保全是、農業環境と農村景観を守り、防災上も重要な役割があります。中山間地域直接支払制度や多面的機能支払制度の拡充と運用改善を求めます。鳥獣被害を抑えるため、生態調査や防護柵・わなの設置、ジビエの活用などへの援助を抜本的に強化。荒廃した森林環境を整備し鳥獣が里に下りないようにします。

輸入自由化ストップ！安全な食料は日本の大地から。

農家のご苦勞に全力でこたえます。

切り取り

農業アンケートにご協力ください

農業と農家の暮らしを守るため農政に要望します。ぜひご協力下さい。

問い1：いまの農業経営についてお聞かせください。

- ①耕作している農地の面積はどれくらいですか？
() アール
- ②耕作していない農地の面積はどれくらいですか？
() アール
- ③耕作していない理由をお答えください
☐ 高齢化や後継者がいないから ☐ 農地の借り手がない
☐ 農地の条件が悪い ☐ 鳥獣被害がひどい ☐ 採算がとれない
☐ その他 ()
- ④現在または近い将来、担い手となる農業後継者はいらっしゃいますか？
☐ いない ☐ いる (後継者の年齢＝ 歳代)

問い2：将来の農業経営をどのようにしたいとお考えですか？

- ☐ 規模拡大したい ☐ 規模縮小したい ☐ 離農したい ☐ 現状維持

問い3：農業施策について要望することをお答えください（複数回答可）

- ☐ 担い手への支援 ☐ 経営体への対策（農業機械や施設、圃場整備など）
☐ 経営体への対策（簿記や青色申告等の経営力向上にたいする支援など）
☐ 農産物の栽培技術向上対策 ☐ 鳥獣による被害対策 ☐ 農産物PR対策
☐ 地産地消や食育への対策 ☐ 都市と農村の交流支援 ☐ 加工品開発の支援
☐ 農村景観形成への支援

問い4：いまの農政や日本共産党へのご意見や要望をお聞かせください

■送り先＝以下のいずれかにファクシミリで送っていただくか、お近くの
党議員・党員にお渡しいただければ幸いです

日本共産党京都府議団 075-431-2916 中丹地区 0773-23-6474

舞鶴地区 0773-65-4051 与謝地区 0772-22-1086 丹後地区 0772-62-5372



ロシアによるウクライナ侵略を機に世界の食料品価格が急騰。国連が「第二次大戦以来の食料危機」と警告するほどです。

中国など新興国の需要が急増し、気候危機などで農業生産は不安定化、世界の食料危機の長期化が懸念されています。食の海外依存の危うさはいよいよあきらかです。

■農業資材も軒並み高騰

肥料、燃料、飼料も軒並み高騰しています。米価など農産物価格が低迷する中、多くの農業経営が窮地に陥るのは必至です。

■こんなときに国産減らす岸田政権

所信表明で「経済安全保障」を強調した岸田首相。国民の命を支える食料の自給率向上には一切言及していません。

それどころか、米価の大暴落を放置し、米も生乳の生産も減らし、自給率の低い麦や大豆、牧草の生産に欠かせない水田活用交付金までカットしようとしています。

この期に及んでも新たな農業つぶし—こんな無責任な政権に国民の食料の将来を託せるでしょうか。



裏面の「農業アンケート」にお答えください⇒



国が米価を市場まかせにしてきた結果、米価は下がり続け、コロナ禍のもとで2021年産米は、前年比 1,450 円（コシヒカリ 30 kg・JA出荷契約米の買い取り価格）も下落。採算割れし赤字経営に。2022年産米は前年比で上げたものの、厳しい営農に変わりはありません。頑張ってきた多くの農家から「コメをつくっているのに（赤字で）メシくえねえ」との嘆きの声があがっています。

米価下落の不安なくす

政府の緊急買い上げ で米価の回復を

コロナ禍で生じた過剰在庫を政府の責任で緊急に買い上げ、市場から切り離すことで、米価の回復をはかるよう求めます。

生産費の補てんや 戸別所得補償の復活めざす

生産費を下回る米価は深刻です。生産費を保障する不足払い制度の創設や、かつて実施していた戸別所得補償（1万5千円）の復活を求めるとともに、京都府として独自制度の創設を要求します。



水田活用交付金「見直し」撤回を



【北部農業版】 京都府委員会 ☎ 075-211-5371 中丹地区 ☎ 0773-22-5506
舞鶴地区 ☎ 0773-65-4050 与謝地区 ☎ 0772-22-5137 丹後地区 ☎ 0772-62-1159
2022年10月24日発行：日本共産党京都府委員会は上記の農業政策を訴えています。